

## 気候変動の状況とその影響 (環境省HPより抜粋)

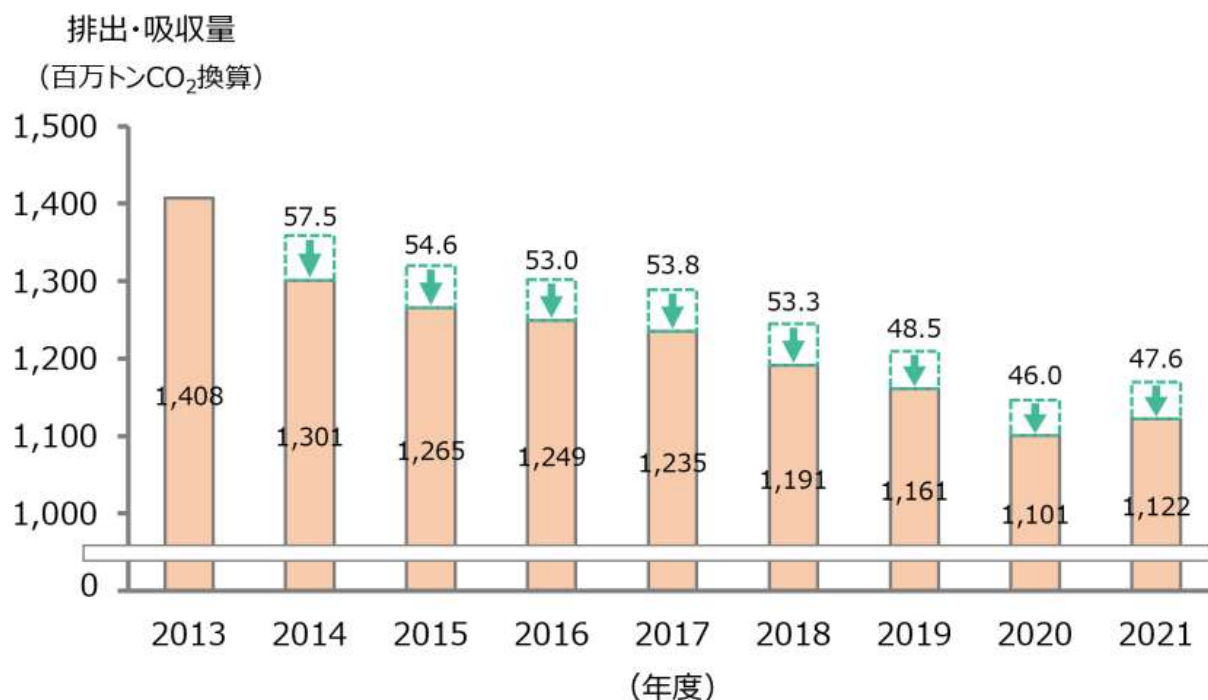
### ～世界の温室効果ガス排出量～

国連環境計画(UNEP)の「Emissions Gap Report 2020」によると、2019年の世界の人為起源の温室効果ガスの総排出量は依然として増加しており、全体でおよそ591億トンとされています。2020年の世界の温室効果ガス排出量は、新型コロナウイルス感染症による経済活動の減速により減少したものの、依然としてパリ協定の排出削減目標からはほど遠く、今世紀内に3°C以上の気温上昇につながる方向へ向かっています。また、CO2以外の温室効果ガスの削減幅は小さく、大気中の温室効果ガス濃度は上昇が続いています。新型コロナウイルス感染症の影響は、短期的な排出削減には寄与しますが、各国が経済刺激策を脱炭素型のものとしめない限り、2030年までの排出量削減には大きく寄与しないと述べています。



### ～我が国の温室効果ガスの排出量～

我が国の2021年度の温室効果ガスの排出・吸収量は11億2,200万トンで、2020年度比2.0%増加、2013年度比20.3%減少しています。

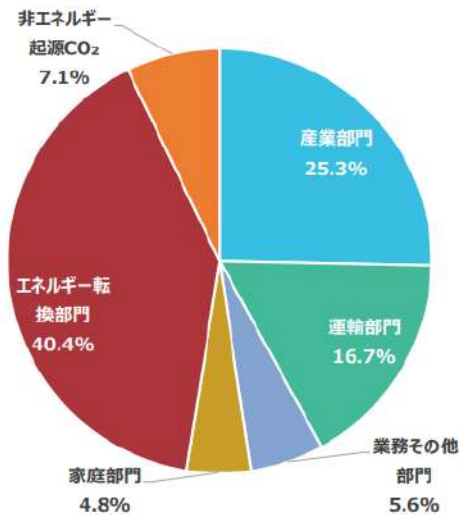


# 部門別のCO<sub>2</sub>排出量

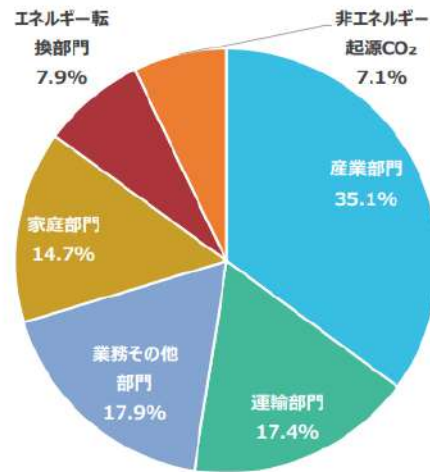


- 電気・熱配分前\*<sup>1</sup>の2021年度CO<sub>2</sub>排出量においては、エネルギー転換部門からの排出（40.4%）が最も大きく、次いで産業部門（25.3%）、運輸部門（16.7%）の順となっている。
- 電気・熱配分後\*<sup>2</sup>の2021年度CO<sub>2</sub>排出量においては、産業部門（35.1%）からの排出が最も大きく、次いで業務その他部門（17.9%）、運輸部門（17.4%）の順となっている。

【電気・熱配分前】



【電気・熱配分後】



CO<sub>2</sub>排出量：  
10億6,400万トン



## 破られた記録／壊れたレコード (Broken Record)

「気温は新たな高値に達したが、世界は(再び)排出削減に失敗している」

(エグゼクティブサマリー、キーメッセージ、プレスリリースからの抜粋)

報告書掲載時点で本年は、産業革命前より1.5度を超えたのが86日あり、本年9月、全世界の平均気温は産業革命前よりも**1.8度**も高かったのです。気温の記録が破られただけでなく、地球全体の温室効果ガス、大気中の二酸化炭素濃度が過去最高を記録しました。

2022年の世界全体の温室効果ガスの排出は、**57.4ギガトン**（2021年比+1.2%）。

現在の排出削減目標の政策では、産業革命前比較で+3度（1.9–3.8度）までの上昇が予測されています。パリ協定の約束が遵守されても2.5–2.9度の上昇が予測されています。

1.5度目標を達成するためには、温室効果ガスの排出は、**2030年に33ギガトン、2035年までに24ギガトン、2050年に8ギガトン**にまで削減する必要があります。

最も楽観的なシナリオによると、産業革命前比較1.5度までの上昇に留める確率は**14%**とされています。

国連のアントニオ・グテーレス事務総長は「私たちは、気温上昇を1.5度までに留めることを現実にする可能性がまだあることを知っています。それには、気候危機の毒の根である化石燃料を断ち切る必要がある。そのためには公正かつ公平な再生可能エネルギーへの移行が必要です」と述べた。

国連環境計画のインガー・アンダーセン事務局長は、「地球上に気候変動の影響を受けない人や経済は存在しない。そのため、温室効果ガスの排出量、世界の最高気温、異常気象に関する望ましくない記録を打ち立てるのをやめなければならない」「私たちは代わりに、不十分な野心と十分な行動のない同じ古い溝から針を上げ、排出量の削減、環境に優しい公正な移行、気候変動資金などの他の記録を樹立し始めなければなりません。」と述べた。

UNEP(国連環境計画: United Nations Environment Programme)

排出ギャップ報告書2023 (2023年11月20日)

<https://www.unep.org/resources/emissions-gap-report-2023>

## 気候危機アクション資料集

気候アクションガイド↓



じぶんごとプラネットHP↓



環境省HP ゼロカーボンアクション30↓



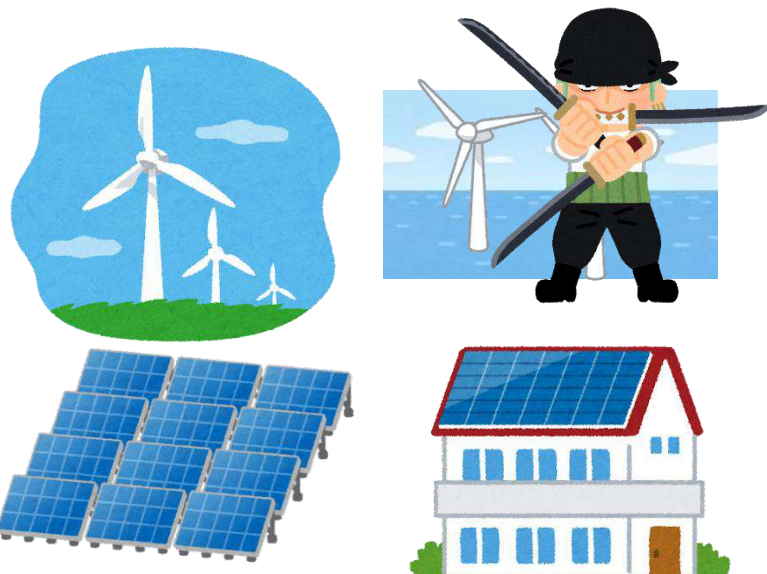
効果ある対策 ランキング・トップ10 (2020-2050年削減CO2ギガトン 1.5度シナリオ)

1	風力発電	143.56
2	太陽光発電(メガソーラー)	111.59
3	菜食主義	103.11
4	食料廃棄の削減	102.20
5	熱帯雨林保護	85.14
6	料理ストーブの改善	76.34
7	家族計画と教育	68.90
8	太陽光発電(家庭)	64.86
9	冷媒の管理	57.15
10	代替の冷媒	48.75

11	森林放牧	42.31
12	泥炭地の保護と湿地化	40.27
13	植林	35.09
14	多年生作物	32.87
15	メタンの漏出管理	31.29
16	温帯林の保護	27.85
17	間作	24.40
18	多層的森林農法	23.94
19	再生的な栽培	23.21
20	太陽光への集中	21.51

21	放牧の管理	20.92
22	耕作放棄地の再生	20.32
23	竹の生産	19.60
25	LED	15.69
26	代替セメント	15.56
27	公共交通	15.42
28	牛の餌の改善	15.05
36	リサイクル	11.29
37	カーシェアリング	11.07
41	電気自動車	9.76

<https://drawdown.org/solutions/table-of-solutions>より 2023/9/21アクセス







# 上京診療所活動報告

2023 SDGs

上京診療所では「気候危機・ジェンダー平等などSDGsの課題に挑戦しよう」という診療所活動方針のもと、2022年10月7日にSDGsプロジェクトチームが発足しました。一年間の活動内容を報告します。

(上京診療所 荒川利人)



## 2022年にSDGsプロジェクトチーム発足

使命：わたしたちのSDGsアクションの具体化

メンバー構成は

医師・看護師・事務・リハ多職種で、管理だけでなく、常勤も非常勤も立場を超えて話し合い実行できるチームを結集！！



## 女子トイレに生理用ナプキン設置しました



生理用品を持っていない状態で、生理が始まったり、困った経験を持つ方はとても多い。



生理用ナプキンを常備  
今よりも働きやすい環境で、みんなが気持ちよく働き続けられるように



## ジェンダートイレの設置

みんなのトイレ  
2階個室トイレ（2カ所）  
追加備品：  
生理用ナプキン・ダストボックス・音姫



工夫：男女トイレから離れた場所にある完全個室のトイレを選択した。外から「トイレ使います」の一言でアクセスできるように案内を掲示した。



CO2排出量を削減する活動  
電気自動車サクラ号(往診車)を購入



小学生診療所体験を開催

2023年夏